2024 年度
事業計画書・収支予算書

古きを知り新しきを創る、

そして繋ごう次の時代へ

JCI™ 一般社団法人 岡崎青年会議所

目　次

1.　理事長所信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2.　直前理事長抱負・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
3.　相談役抱負・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
4.　副理事長基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
5.　専務理事運営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
6.　常務理事基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
7.　監事抱負・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
8.　外務理事抱負・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
9.　議案審査グループ抱負・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
10.　委員長事業方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
11.　専務理事補佐抱負・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
12.　委員会別担当事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
13.　委員会別議案上程スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
14.　議会議日程表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
15.　正味財産増減予算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
16.　委員会事業費・例会費・総会費内訳書・・・・・・・・・・・・・・・ 35
17.　出向者一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
18.　一般社団法人岡崎青年会議所組織図・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
19.　愛知ブロック協議会組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
20.　東海地区協議会組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
21.　公益社団法人日本青年会議所組織図・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
22.　年間公式スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
23.　メモ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
24.　編集発行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43

理事長所信（案）

一般社団法人岡崎青年会議所
第 64 代理事長　山本　真道

【故きを知り新しきを創る、そして繋ごう次の時代へ】

【はじめに】

地域への貢献と個人の成長を支援する団体は世の中に多くはありません。それを理念とする団体が青年会議所です。我々は、多種多様な業種のメンバーが所属しており、同じ地域で活躍する同世代の仲間を作る団体です。ＪＣは、通常では体験できない経験を積む事を可能とし、それがメンバーの視野を広げ、新しいビジネスチャンスや事業の拡大へ導きます。それを目の当たりにしたのは、新入会員の時でした。時の理事長や委員長は、メンバーとコミュニケーションを取り、事業を組み立て、威風堂々と挨拶をされました。その姿は、偉大であり立派でした。それを見て自分自身も事業を作る側に立ち、率先垂範を心掛け、大きく成長をしたいと考えていました。それを機に、委員長・副理事長と役職を立て続けに受けていきました。その過程において、経験者の方や諸先輩の方々に、お話やアドバイスを伺う機会が増えました。今思えば、それは直接的にはＪＣの内容でしたが、翻って自身の社業における事業構築や周りとのコミュニケーションに活かされている事を強く感じています。青年会議所活動・運動では、今までの生活の延長線上では得られなかった学びが多くあります。その一つが、地域への関わり方です。今までは、地域貢献とは、取り組みに参画する事だと捉えていました。しかし、活動・運動を通じて、真の貢献とは、地域の特色をよく理解し、住民や他団体と対話する事であり、自分たちが主体的に動く事ではじめて、影響を与える事が出来ます。私は、活動の中で実践を重ね、自分の人生観を大きく変化させました。岡崎青年会議所に入会する事は、私たちの成長を促すたくさんの機会があり、その過程の中で、おかざきへの貢献があります。『地域を支えるために必要な存在』そのように青年会議所の事を捉えています。他方で、青年会議所の会員数は、年々全国的に減少しています。ＪＣは、多くの地域に存在しており、様々な活動を行い、地域に影響を与えているはずです。われわれが日々学んでいる事、そして地域に対して貢献している価値を、もっと社会に伝え、共感していただく方や理解者を増やさなければなりません。1 年という限られた時間の中で、私が岡崎青年会議所に育てていただいた恩返しをできるとしたら、それはメンバーの団結力を強固なものとし、地域と少しでも多くの繋がりを作り、地域への貢献とメンバーの学びを増やしていく事です。岡崎青年会議所に入会した事が、その人の人生に影響を与え、誇りとして感じていただけるような組織作りを行います。

【中長期ビジョンの実現と基盤構築】

昨年度に、岡崎青年会議所の中長期ビジョン書が策定されました。これは、単年度制である青年会議所が苦手としていた継続的な事業の実現が行いやすい土台となります。本年度は、中期ビジョン書を実行に移し、確実に遂行するための計画、そしてあるべき姿に向かうため指針を作ります。

【まちづくり　～明るい豊かなまちへ、新しい賑わい創出～】

愛知県のほぼ中央に位置する岡崎市は、県内 3 番目の面積を持ち、豊かな山林がある一方で、人口も多く中核都市に指定されています。また、歴史が深く、数々の遺跡や古くから伝わる伝統行事、神社・仏閣などが現存する地域です。今では、岡崎市の主導により、町中が整備され、新しい建物が作られ、人が交流する場所が整えられました。これらの場所は、おかざきの代表するまちづくり事例として、他の自治体や団体から参考にされ、見学に訪れる方も増えています。岡崎青年会議所は、地域に根付く団体として、正しい歴史を語り、まちが変化してきた事を伝える伝道師となっていく必要があります。

新型コロナウイルス感染症のまん延は、世界そして日本にも大きな変化をもたらしました。人と接する事が規制され、活動が制限され、経済にも大きな影響を及ぼしました。しかしながら、人類はこの体験を持って本当に必要なものに気づいたのではないでしょうか。それは、『人と人の繋がりの大切さ』です。最近では、各地で交流を持つためのイベントが開催され、まちの賑わいを取り戻すべく、自治体機関や地域団体が奮闘しています。われわれ、岡崎青年会議所はこのような時だからこそ活動すべきではないでしょうか。今こそ地域のため力を尽くします。

【青少年育成　～持続可能な社会、それはこれからを担う青年の育成～】

地域の発展において、青少年の存在は経済と賑わいに大きな影響を与えます。青少年が活発に地域のイベントやスポーツに参加する事で、若者に新しい経験を与え、チャンスを得る機会にもなります。このような取り組みは、地域の魅力を引き出す事にも繋がり、地元のお店や観光施設にも活気をもたらします。青少年に、未来の担い手として、才能や情熱を発揮できる機会を作ると共に、中長期的な視野も入れ、おかざきの文化にもなり得る取り組みを作っていきます。

わんぱく相撲は、これからの未来を担う子ども達が「礼」を学び、「努力」の大切さ、そして「思いやり」を学ぶ場です。先人の方が始め継続してきたこの事業は、今や地域のコミュニティとなり、子ども達にチャレンジする機会を提供する重要な位置づけです。相撲は、古来より神事や祭事で行われてきました。その伝統である相撲の歴史を深く知り、興味を持つ参加者を増やしていく事で、スポーツマン精神を学び立派な青年へと成長していく過程を支援していきます。

【会員拡大　～共通の目的を持つ仲間を増やす～】

会員拡大は、近年の最大の課題です。年々進んでいく会員数の減少は、活動の範囲を狭める事になり、影響力も少しずつ変わってきています。このままでは、いずれ自分たちがやりたい事もできなくなる時代が来てしまいます。今こそ、力を合わせて直面する事態に取り組むべき時です。青年会議所の素晴らしい部分は、卒業があり、終わりがある事です。そのため、顔触れが変わり、毎年新鮮さを感じる事ができます。更に、そこには業種や立場が様々な方が入会してきます。そして卒業し学んだ事を活かし、社業の拡大や地域への関わりを持ちます。卒業したメンバーがまちで活躍する姿は、JAYCEE としてのあるべき姿ではないでしょうか。LOM の本質をより理解し、大好きになり、そこに仲間を増やしたくなるような組織であり続けなければなりません。その土台を作るため、一人ひとりの接点を増やし繋がり、想いを共有し、全員が一丸となって拡大を行います。

【会員交流　～メンバーが一枚岩となる組織へ、個々が責任ある行動を起こす～】

岡崎青年会議所は、交流を通じて相互理解を深め、仲間と共に新たな価値観を築いています。異なるバックグラウンドや文化を持つ私たち青年が集まり、互いの視点や考え方を尊重しながらコミュニケーションを図ります。共通の目標に向かって協力していくためにも、一人ひとりの相互理解を深めていきます。

また、自己成長と地域貢献を、同時に実現するための場を提供し、交流を通じてチームワークを向上させ、成長する機会を作ります。共に活動することは、困難や達成感を経験し、乗り越える中で結束力が生まれ、深い信頼関係を築いていきます。

【次世代育成　～JC の強さ、きずなの構築～】

青年会議所に入会後、最初に触れ合う機会があり、最も付き合いが深くなるのは同期です。どの世代にも、年齢を問わない同期が存在し、互いに役職を受けるメンバーのサポートや同期会など公私での付き合いも増えます。卒業した後も、繋がり続けているメンバーもいます。これこそが青年会議所に入会したメリットの一つでもあり、楽しめる要素の一つでもあります。本年度は、青年会議所が得意とするチームワーク・連携する事の大切さを学ぶ機会を提供します。例年、新入会員パフォーマンスにより、お互いを知る事により相互理解を図っていますが、その先にあるもっと強いきずなを構築する事業を行います。青年会議所の事業に触れ、自分たちが主体となり行う事でスムーズなチームワークを形成していきます。

【日本ＪＣじゃがいもクラブ２０２４年度第４７回中日本地区大会】

本年度は、このおかざきの地で開催をする事になります。1954 年の発足以降伝統的に事業が行われてきています。総勢 100 名を超える役員やメンバーが所属する団体であり、スポーツマンシップ精神にのっとり「修練・奉仕の場」である事や「OB と現役の架け橋」とすべく 60 年近くに亘り活動が行われてきました。かつては、会頭を輩出した青年会議所で

もある我々が、滞りなく事業を終える事、そして全国から集う選手を最大限にもてなし、またおかざきの地を存分に知る設えを整える事で、外部の LOM に対し存在感を示していきます。

【歴史を感じ伝えられる組織、古き良き誇り高い青年会議所へ】

様々な団体や企業が世の中にはありますが、ここまで続く強固な組織であるのは、過去に努力し作り上げてこられた諸先輩方の活躍があり、そしてその意思を引継ぎ、今を支える現役メンバー、これからの青年会議所の未来を作り支えていく新入会員の存在があります。そこに所属している事、そして事業に関われる事に感謝と誇りを持たなければなりません。これから岡崎青年会議所に携わっていただける方、そして関わり続けていただける方々に、われわれが基軸となり地域に関わり続け、経済発展や地域振興に寄与し続けていく事を示していきます。

【65 周年への準備】

来年度は 65 周年を迎える年となります。青年会議所にとって節目とは、対外に向けて発信をできるタイミングでもあり、新たな 5 年間を走り出すスタートとなります。今まで支えていただいているおかざきの方への感謝と共に、先輩諸兄・関係団体に向けて敬意と感謝を伝えつつ、確実に遂行できるための準備を行います。

【出向者を支える】

他 LOM を知る事は、自分たちの LOM の成長に大きく寄与する事になります。青年会議所の強みの一つは、世界的な組織であり、日本全国にも同じ想いを持ち活動している同志が存在する事です。日本青年会議所の愛知ブロック協議会や青年経営者団体連絡協議会へ出向を行っているメンバーへのバックアップを強化すると共に、活動を積極的にメンバーに発信を行い、各種大会や事業などの参加を推進し、出向に対する興味を向けていただきます。

【全員参加型の理事会運営】

岡崎青年会議所の活動の根幹にあるのは、度重なる会議での議論を経て、重ね練り上げられた議案書です。この議案書は、事業の円滑な運営や本来やるべき軸を間違えないためであり、後世に引き継ぐためにも使われるもっとも重要なものとなります。委員長を始めとした理事構成メンバーは、この議案書を作るために侃侃諤諤と理事会での議論を重ねていきます。議案は理事メンバーが代表して作るものではありますが、事業は岡崎青年会議所として全てのメンバーが関わるものになります。議案が練りだされている段階から参画の機会作り、全体の一体感を作っていきます。理事会運営を全委員会にて行う環境へ変え、愛知ブロックや様々な青年会議所で取り入れられている服装規定を参考にして、近年の状況を鑑みた運用により、誰もが関われる理事会運営を目指します。

【おわりに】

われわれが所属する岡崎青年会議所は、60 年を超える歴史を持っています。それほど長く地域と関り、まちの人と関わってきました。入会の理由は、人それぞれで、自分の思惑で時間を作って活動しています。しかし、青年会議所の存在価値を見出し、使いこなせている方は近年少ないように感じます。所属しているメンバーへその価値を伝え、次世代に繋ぐ事は理事を受けるわれわれの最大の責務です。卒業してからも現役でいる間も、周りに誇れるような存在になれるように日々邁進してまいります。

直 前 理 事 長 抱 負（案）

直前理事長　佐藤　伸

2024 年度、岡崎ＪＣは創立 64 年目となり、節目となる 65 周年を目前に控える立場となります。65 周年では、これまで岡崎ＪＣへ大きな貢献を果たされてきた先輩諸兄へ私たちが今もなお、明るい豊かな社会の実現を目標と掲げ、青年会議所運動を継続していることを伝えなければなりません。また、その一方で私たちの活動を支えて下さる地域・地域市民への感謝を具現化すると共に私たちが地域を創る組織であることを伝えていく必要があり、2024 年度という年は、目前に控える 65 周年記念式典、記念事業の成功を占う大切な年となります。理事長所信のテーマに描かれている「古きを知り新しきを創る、そして繋ごう次の時代へ」にあるように、先輩諸兄からの理を自身のものとし、新たな価値観を取り入れ、時代に合わせた次代の創造を訴える事業実施計画を 65 周年となる 2025 年へと繋いでいただきたい。

青年会議所に所属できる 20 歳から 40 歳というのは、人生で最も肉体、精神に力が溢れ、活力ある時期といわれています。この大切な青年期において、どれだけ濃厚な時間を過ごすことができるかが自身の将来に大きな影響を与えます。それは、岡崎ＪＣの例会、事業にお越し下さる先輩諸兄や、ご卒業後も日本青年会議所シニアクラブや様々な団体においてご活躍されている先輩諸兄の顔を見れば一目瞭然です。懸命になれた人には、一生の友、一生の糧があり、有意義な卒業後の生活が待っています。卒業後でも当時の仲間と酒を酌み交わす先輩諸兄の姿を見る度に、羨ましくそうなりたいと恋い焦がれています。その境地に辿り着くには、仲間とともに夢を語り、ロマンを追い求める青年ならではのもっと良くしたいと想う情熱が必要なのです。今は忙しく感じると思います。しかし、その追われるような日々は、貴方の人生を支える糧となり、友を与え、振り返った時に充実感を与えてくれるはずです。

結びとなりますが、2024 年度の成功と皆様の益々の発展と成長を祈念致しまして直前理事長抱負とさせていただきます。

相 談 役 抱 負（案）

相談役　稲吉章宏

岡崎ＪＣには出向として、岡崎市青年経営者団体連絡協議会という他ＬＯＭにはない岡崎ＪＣ特有の出向先があります。市内の異業種団体や業界団体が集まり「次代を担う青年経営者団体相互の連携及び交流を促進し、各産業界の振興に資するとともに、地域社会の活性化に寄与し、もって岡崎経済界の発展及び安定を図ること」を目的として活動しております。そして、最大の特徴としては岡崎市商工労政課が事務局を務め、市との太い関係があり、民間と行政を繋ぐ大変重要で貴重な協議会です。しかしながら、各団体の会員数の減少から参加する事が困難な団体も生じているのが現状です。このような状況であっても、地域経済の発展に寄与する組織として持続可能な組織運営を模索し、事業を実施してまいりました。令和 3 年度会長職の経験を次世代へ活かし令和 5 年度監事として野々山会長を支えてまいります。

岡崎ＪＣにおいても、出向という環境での会長職の経験を、岡崎ＪＣメンバーへ伝えると共に、出向の大切さ、楽しさ、なにより他団体とつながりを持つ大切さについても相談役として伝えていきたいと思います。また、青年会議所の活動として通常に戻りつつある環境の中、2019 年まで守られてきた岡崎ＪＣらしさの部分が必要となってきます。礼儀、規律、作法。この数年で忘れられてきた部分を、岡崎ＪＣメンバーへ活動や同好会を通じて継承してまいります。

副 理 事 長 基 本 方 針（案）

青少年育成系担当
副理事長　南　浩一

【青少年育成】10 月例会

　私たちが子どもの頃、地域社会では大人も子どもも、それぞれが役割を担い、地域社会での暮らし方そのものが家庭や学校では得られない社会性を身につける場ともなっていました。しかし、少子化、部活動や塾などの習い事と、子どもたちの生活環境も変化し、異なる年齢集団で遊ぶ機会も減少してきています。このような社会状況のなか、今日的な課題として「青少年育成」のためには、社会生活に必要な知識や態度を身につけさせる事が期待されています。この事業の振興は、将来の「地域づくり」の第一歩といえます。これからを担う青少年は、一人ひとりが希少な地域の宝です。持続可能な社会に向けて、若人に全てを託す以外にありません。岡崎ＪＣ主体でのさまざまな魅力溢れる街中のスポーツ・イベントを開催する事で、青少年たちに自主性・創造性を発揮できる場を提供し、青少年の健全育成と地域の発展に貢献していきます。地域の発展、社会の繁栄へと走る若人の献身はなんと尊い事でしょう。スポーツ・イベントで青少年が躍動する姿は、経済と賑わいを呼びます。現在、おかざきは城下町としての歴史的なたたずまいが整備され、賑やかな「人の流れ」が創出されています。これを一過性のものに留まらせずに継続的な往来・滞留の流れを作り出す必要があり、確かな経済の活性化へと繋げていきます。青少年が心身共に健やかに成長し、自立した個人としての自己を確立する事、そして若者が社会における役割を担い、情熱を持ってその使命を果たしていく事が、私たちの願いです。青少年が各人各様に瞳を未来に向けて、各人が挫折を繰り返しながら、各様に逞しく生き抜く力を育む事で共に成長し、笑顔溢れる明るい未来のおかざきを創造します。

【わんぱく相撲】6 月例会

　相撲の起源は古く『古事記』や『日本書紀』の中にある力比べから発生した伝統あるスポーツといわれています。歴史、文化、神事、競技など様々な側面や奥深さを待ち合わせ、現代にも脈々と受け継がれてきました。わんぱく相撲は岡崎ＪＣ事業として、子どもたちに身近に行える相撲に親しむ事で心身の鍛錬や健康の増進をはかり、さらには「相撲道」の奥深い伝統や文化も伝え、競技の所作、作法が何を意味しているかを実感できる貴重な場でもあります。相撲の持つ文化や礼節は子どもたちに勝ち負けだけにこだわらずに、挑戦する事、努力する事、負ける事の悔しさ、勝つ事の喜び、相手を気遣う優しい心などを学ぶ機会を与えてくれます。相撲の勝ち負けは体格差だけでは決まりません。真剣さ本気の取り組みで決着が着きます。長く継続してきたこのわんぱく相撲は、今や地域のコミュニティとなっており、相撲の歴史を深く知り、興味を持つ参加者を増やしていく事でチャレンジ精神に満ちた子どもたちを支え応援します。この先どんな困難が立ちはだかったとしても、わんぱく相撲で培った力で前へ進んで行く事を切に願っています。

副 理 事 長 基 本 方 針（案）

65 周年準備・会員拡大委員会担当
副理事長　加藤　敦士

【共通の目的を持つ仲間を増やす】3 月例会

かつて岡崎ＪＣは 100 名を超える団体であったように、長く携われる 20 代から 30 代前半の若い人財が必要不可欠であります。

近年、岡崎ＪＣの会員数は悔しくも減少傾向にあります。継続的に会員拡大を行っていかなければ、ＪＣの理念を全うする事は愚か組織が衰微し、岡崎ＪＣの目標・目的が達成し続ける事が困難になると考えております。ただ闇雲に会員拡大をするのではなく、会員相互に寄り添い必ずや会員拡大を成功させる必要があります。当委員会が先頭に立ち、2024 年度は会員一人ひとりが会員拡大に献身的に取り組む体制を考えると共に委員会単位で会員拡大に必ず寄与していただきます。活動・運動をするにあたり多くのメンバーの支えや他者から意見を貰う事により活動の質や幅を広げられると考えます。会員が多い団体は、それだけでも価値を見出せるのではないでしょうか。会員の中にも、会員拡大を行うにあたり得意不得意が出てくる事はあるでしょう。例えば、岡崎ＪＣの事をうまく周囲の方へ説明ができない方、会員拡大をする事などに抵抗感を持っている方もいると考えております。その結果、通年会員拡大委員会に責任や重圧が圧し掛かり、他の委員会は人任せになっている事もあるでしょう。会員一人ひとりが共通する目的を持ち、仲間を増やしたくなるようなメリットを共有する事で、会員拡大への意識醸成と会員拡大を行う際の抵抗感を払拭する事を念頭に置き、1 年間邁進をしてまいります。

【65 周年の準備】

岡崎ＪＣは、1 年後 65 周年という節目を迎えます。1961 年に創立してから現在まで、われわれがＪＣの活動・運動をできているのは、先輩諸兄が懸命に明るい豊かな社会の創造を実現するために永続的な活動・運動を重ねられてこられたからです。周年は、日頃よりご協力いただいている先輩諸兄・関係団体・地域の方に向け敬意と感謝を伝える場となります。65 周年がスムーズに遂行できるよう、環境整備や会場予約等の提案と策定を行います。多くの方にご臨席いただくには、本年度中に諸先輩諸兄や関係団体等に周年を迎える事を徐々に告知していく必要があります。

【中長期ビジョンの実現と基盤構築】

岡崎ＪＣの未来はどのような歩みを遂げているのでしょうか。継続して活動・運動をしていくためには、中長期ビジョン書に掲げている「岡崎ＪＣの知名度向上・繋がり続けるためのプラットフォーム構築・相乗効果による成果の増大・地域コミュニティの活用」について意見を集約し、会員一人ひとりの意識醸成と終始一貫してブレる事のない方向性が見えてまいります。65 周年から活用できる中長期ビジョン書を構築する事で、連続性のある活動・運動を根差す事ができます。

副 理 事 長 基 本 方 針（案）

まちづくり系委員会担当
副理事長　早川栄治

【温故知新】4 月例会

おかざきには徳川家康公ゆかりの歴史文化資産や伝統的な催事、数多くの重要文化財指定建造物がある他、中心部を流れる清流をはじめとする良好な自然環境を有しています。またおかざきには様々な伝統産業が、今も脈々と受け継がれている地域でもあります。しかし、こうした地域資源をおかざきに住まう人々が自慢したくなるまち、誰もが訪れたいと想うまちにするには、市民一人ひとりがまちに対し関心を持ち、理解を深め、まちへの誇りや愛情がなければ、到底成し得る事はできません。故きを温め、新しきを知る。今こそ私たち岡崎ＪＣが立ち上がり、地域資源とトレンドを組み合わせた、おかざきの新たな魅力を発信していく事が、まちづくりへと繋がる一歩と考えます。魅力をただ発信するだけでなく、メンバー一人ひとりが学んだ事を行動に移す事でより大きな力を生み出し、岡崎ＪＣが語り部となるような事業を展開します。

【市民と共に】9 月例会

近年まで新型コロナウイルス感染症で人と接する事が規制され、活動が制限され、経済にも大きな影響を及ぼしました。最近では少しずつ新型コロナウイルス感染症の脅威や恐れもなくなり、人の往来も増え、まちに活気か戻りつつあります。しかしながらその背景には地域で活動している団体や自治体機関が、人と人が繋がれる場所を作り、交流するための企画や体験を作り、かつての賑わいを取り戻すべく奮闘しているのが現状です。そこで、岡崎ＪＣとして、人と人との交流や、繋がれる場所を取り戻すため、われわれの知識や知見を活用し地域のために何ができるのかを再考し、そして、志を同じうする諸団体と連携し、パートナーシップを組む事を検討していきます。まちのイベントに参加、企画するなど、繋がりの大切さを学ぶ事で交流や、繋がれる場所を提供します。まちとの共存、それを守る地域、人々との共存を大切にできるよう力を尽くし、自他ともに「地域を支えるために必要な存在」として、認められるようになる事を目指していきます。

【広報の可視化】

私たち岡崎ＪＣの活動を、広報を通じて「可視化」し、おかざきの市民に広く知っていただく事で、メンバーの達成感やモチベーション向上にも繋がります。そのために先輩方が築き上げてきた広報活動について、その手法を学び踏襲していきながらも、現状の広報ツールを使うと共に、新しい手法を模索する事により、ＬＯＭ一丸となって取り組みます。私たちが取り組んだ例会や活動を参加したメンバーも振り返る事ができ、参加できなかったメンバーや入会候補者、そして一般市民が岡崎ＪＣの活動をより多くの方々の目に触れる環境を整え、幅広く知って頂けるように発信を行う事のできるようにしていく事を目指していきます。

副 理 事 長 基 本 方 針（案）

ＬＯＭ活性化委員会担当
副理事長　前田　晋作

【さざれ石から一枚岩の岡崎ＪＣ】2 月例会・11 月例会

一般社団法人であるわれわれ岡崎ＪＣは、社員としての私人の集合体です。この相集った個々の会員は生まれ育った地域や環境から岡崎ＪＣへ相集ったきっかけ・理由・目的も違っており、個人としての価値観から家族・社業も十人十色です。この会員同士が強く結びつき行動を起こすには、会員相互が深く理解し合う事が何よりも大切になります。会員相互の理解は、お互いの違いを認識し尊重しあうだけではなく、お互いの共通点を見つけるところまで深く行われる事により、大きな運動及び活動を実施する事できるようになります。

先ず 2 月例会では、会員同士の相互理解を促し、より深くお互いの共通点を知る事ができるような場を設けるために実施します。会員同士の多様な面をより深く知り合うためには、活発なコミュニケーションが何よりも要です。価値観から家族・社業も異なる会員同士が相互に自己を売り込む交流会のような場とし、単純な自己紹介に留まる事なく、会員同士の活発なコミュニケーションを通じ、会員相互の違いから共通点までをあぶり出し、相互に理解し合う事を目指します。例会終了後も会員同士の相互理解を深められる交流が継続できる事を目指します。

11 月例会では、会員同士の相互理解をより実践的に理解しあう事を目指します。委員会という垣根を飛び越えて、会員同士が各々の得手不得手を理解しあいながら相互に助け合い一致団結して、ミッション等に取り組んでいただきながら、会員が社業や個人の取り組みでは得る事のない体験をして、学びを得てもらいます。例会を通じて、ミッション等に取り組んだ会員には達成感を感じ、自己の成長を実感するだけではなく、他会員の成長も気づきお互いに称えあえ、会員同士の紐帯をより強固な絆とする事を目指した例会を実施します。

2 月例会と 11 月例会を点ではなく線として捉え、2024 年度を通じ、われわれ岡崎ＪＣの個々の会員が、国歌「君が代」にもある「さざれ石」であるがごとく強く結びつき、あたかも一枚岩となるような強い結束力を持った岡崎ＪＣを目指し、ＬＯＭの活性化を目指します。

【65 周年を意識して】7 月例会

7 月例会では、上半期の運動及び活動を振り返り、下半期に向けた意欲を醸成し、さらに 2025 年度理事長候補者及び役員候補者を会員及び岡崎ＪＣシニアクラブへお披露目し、2025 年度準備が滞りなくはじめられるような舞台を準備します。さらに、岡崎ＪＣは創立から 64 年目となりますが、2025 年度は 65 周年の節目を迎える事も踏まえ、例年以上に岡崎ＪＣシニアクラブ会員の関心も高まりますので、礼式を意識した例会を目指します。

専 務 理 事 運 営 方 針（案）

専務理事
中日本じゃがいも特別委員長　小田　高之

【組織運営】

理事長は所信表明で「メンバーの学びを増やしていく事」を掲げています。「学び」とは情報量の増加ではなく、自己の知識体系の破壊と再構築であり、換言すれば自己の外へと超越する事です。その達成のため、組織運営として、各メンバーが青年会議所活動・運動を主体的に捉え、それらへの関与を増やす機会を創出します。加えて、学びにとり有益な事は、闊達な議論と計画性のある実行を促す事です。そのために、各会議体における議論の方向性を着実に管理していく事とします。全てのメンバーの学びを促す事ができるよう努めて参ります。

【専務理事補佐の育成】

専務理事補佐は、入会 2 年目ながら緒会議体への出席、理事長や専務理事への帯同など、多くの経験を積むチャンスがあります。その機会をより積極的に捉えていただくために、専務理事補佐には全体的なスケジュールの管理、アジェンダシステム運用の補助を実行していただきます。これにより、青年会議所がいかなる過程を経て運用されるのか、どのような議論を交わし事業実施に至るのかを学ぶ事を企図します。他方で、持続可能性を担保するため、業務の見直しを図ります。具体的には、諸会議体における議事録作成の見直し、帯同の選択と集中を模索します。

【日本ＪＣじゃがいもクラブ　2024 年度　第 47 回中日本地区大会開催】5 月例会

1958年に創立された日本ＪＣじゃがいもクラブは、ゴルフというスポーツを通じて、青年会議所を卒業しても「友情と修練」の場である事を忘れず、「現役と OB の架け橋」の役目を果たす事を理念に活動が続いています。その内容は、全国選手権大会を頂点に、その下に日本全国を三つの地域に分け、予選を兼ねた地区大会が開催されています。今回、岡崎ＪＣとして誘致したのは中日本地区大会であり、開催は 47 回を数えるものです。

このような伝統ある大会開催にあたり、我々は、遠方からお越しいただくシニアクラブ会員、現役メンバーの皆様を「おもてなし」する必要があります。大会は二日間にわたり行われます。初日は役員の皆様の会議と前夜祭です。ここでは、気持ちよくお過ごしいただくと共に、滞りなく会を進めていく必要があります。また宿泊施設においては事業者と協力し、歓迎の意を伝える設を目指します。二日目の大会では、約150人にのぼる選手のスムーズな受け入れに始まり、競技進行が遅滞なく進む事を目指し、ゴルフ場と連携をしながら、ＬＯＭ一丸となり設営に当たります。

二日間にわたり行われる大会を貫くのはおかざき流のおもてなしの追求です。エクスカーション、お土産、賞品等、随所に「らしさ」を散りばめ、「現役と OB」の架け橋となる大会の設営に全力で努めて参ります。

常 務 理 事 基 本 方 針（案）

総務委員会担当
常務理事　岩田　裕文

【新たな議案管理・会議体運営】

青年会議所はその名のとおり「会議」を根幹とする団体であり、各会議体を通じて議案を徹底的に議論し磨き上げる事で、ＪＣの運動がより良いものになり、またＪＣメンバーの成長へと繋がります。本年度は古きを知り新しきを創るという理事長所信のもと、ＪＣの良い伝統を残しながら、時代に則した新たな議案管理と会議体運営を取り入れます。

まず本年度から岡崎ＪＣでも「アジェンダシステム」を導入します。それに伴い事業計画書等のフォーマットを一新し、議案作成や上程の効率化を図ります。またこれまで理事会設営は総務委員会の役割でしたが、他委員会のメンバーが理事会に接する機会が少なく、どのような会議体であるか知られていない実情があります。そこで本年度は理事会設営を各委員会の持ち回りで行います。全メンバーが設営に関わる事で、岡崎ＪＣの活動がどのように決まっているかを知る機会となり、組織の理解や参加意欲の向上が期待できます。総務委員会は厳粛な理事会を保つべく各委員会をサポートします。

【古き良き岡崎ＪＣを感じさせる式典例会】1 月定時総会・例会

岡崎ＪＣが長年に渡り継続・発展し続けてこられたのは諸先輩方の尽力、そして地域諸団体の方々の継続的なご支援の賜物です。1 月例会は、岡崎ＪＣシニアクラブ会員及び地域諸団体のご来賓の皆様をお招きし、長年にわたるご協力への感謝をお伝えすべく礼を尽くします。そして、諸先輩方や来賓の皆様に対し、古き良き岡崎ＪＣを想起させるような熱意と勢いを感じさせ、われわれが本年度においてもおかざきの地域に良い影響を与える組織であり続ける事を再認識していただける例会を目指します。

【卒業生の思い出に残る 1 年に】12 月例会

12 月例会は 1 年の活動を振り返り、また卒業するメンバーの労をねぎらい、感謝を伝え送り出します。ＪＣの伝統として、卒業予定者に敬意を払い、最後のＪＣ生活が良い思い出になるようメンバーが 1 年をかけ尽くしています。近年その伝統が薄れている事から、本年度は卒業予定者を 1 年間しっかりともてなすよう各メンバーに意識付けをし、12 月例会にて盛大に送り出す事で、卒業予定者や他のメンバーの思い出に残る例会にします。

【次代を担う人材を育てる新入会員トレーニング】8 月例会

入会 1 年目をどのように過ごすかによって、その後のＪＣ活動に対する熱意、モチベーションが大きく変わります。新入会員トレーニングは、まさに岡崎ＪＣの次代を担うメンバーを育てる格好の機会となり、そこで重要なのは同期の友情・絆です。新入会員が地域イベントに参加する企画を立案、準備、実行し、1 つの目標に向かって苦楽をともにする経験をする事で、新入会員に強い絆が生まれ、青年会議所の良さを感じ、岡崎ＪＣへの愛着と今後の活動に対するモチベーションを醸成していただきます。

監 事 抱 負（案）

監事　深谷　竜太

「修練」・「奉仕」・「友情」の 3 信条を基本とし、ＪＣは活動し運動を展開している。その中でも岡崎ＪＣは、指導者訓練（リーダーシップトレーニング）を基調とした「修練」を重視している。しかしながら、岡崎ＪＣに入会し只々在籍しているだけではリーダーは誕生しない。

岡崎ＪＣが誕生し、本年で 64 年目を迎える。永い歴史の中で、先達たちは仕事に励み、家庭を守り、おかざきの今そして未来の為にＪＣを行ってきたに違いない。どの時代でも時代毎の社会課題が有り、社会や経済の変化がおき、ＪＣをする上で楽な時代などなかったはずである。今も昔も変わらず厳しい時代だからＪＣが有り、まちのため家庭や会社のために、明るい豊かな未来を目指しＪＣ活動を続けたからこそ、地域のリーダーが創出している。

役を演じる事が組織のためになる。単年度制であるＪＣは様々な役職を経験し、役職毎の「修練」・「奉仕」・「友情」を体験するからこそリーダーへと成長する。監事という大役を預かる事となった本年、今までの経験を活かし事業監査・会計監査の職務遂行に努める。岡崎ＪＣは何事にも挑戦できる団体であるが組織としての規律があり、何事も自由に行って良いわけではない。理事長の所信に始まり、副理事長・委員長の方針によって具現化される。そして様々な会議を通して真摯に話し合い、事業・例会へと進化し運動に発展する。事業・会計の監査において、嫌がられる事も意見がぶつかり合う事もあるかもしれない。しかしながら、組織のために役を演じきる。

結びに 2024 年度、山本理事長の素晴らしいリーダーシップを祈念するとともに、岡崎ＪＣのすべての事業・例会が大成功となる輝かしい 1 年を願い監事抱負とします。

監事抱負（案）

監事　菊地　桂佑

64 代理事長山本真道君より、岡崎ＪＣの監事にご指名いただき、その重責を強く感じると共に、63 年の歴史ある岡崎ＪＣの監事として責任と自覚を持ち、挑んでいきます。
2024 年度の岡崎ＪＣは山本理事長が掲げられている「古きを知り新しきを創る、そして繋ごう次の時代へ」をテーマに進めてまいります。
近年、先輩諸兄から「ＪＣは緩くなった。厳しさがない。」と指摘されることがあります。ＪＣにおける厳しさとは、いったい何でしょうか。在籍年数が長いメンバーや卒業予定者、先輩方に対する配慮といった礼節は必要です。また、おかざきのために行う不断の努力や様々な機会に触れて貪欲に学びを得ようとする真摯な姿勢など、例会や事業、各種大会への取り組み方・心意気も欠如してはなりません。これらの点を評価対象とし、欠落している場合はしっかりと指摘することが厳しさの１つと考えます。
これらを指導するうえで私自身が成長しなければなりません。己を律し社会的責任感・正義感を持ち、誠実性、勇気、慎重さをもって事を処す。そして自己の信念と良心に基づいて判断できる意思強固な人格を理想とし、監事職に相応しい人間を目指し自己研鑽を続けます。
入会 7 年目、30 代前半の私が、山本理事長より監事という大役を仰せつかりました。64 年目を迎え、伝統と歴史ある岡崎ＪＣという組織の監査を担うことについては、大きな責任と使命を感じています。山本理事長が掲げる所信から組織が逸脱しないよう、常に組織が正しい道を歩めるよう、精いっぱい任務を全うする所存です。
先輩諸兄ならびに現役メンバーの皆様におかれましては、一年間ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

委 員 長 事 業 方 針（案）

未来の英傑育成委員会
委員長　河田　翔太朗

【6 月例会】

わんぱく相撲は岡崎ＪＣが主体となり、集客、設営等の全てを行い、本年で 36 回目を迎えます。諸先輩方が築き上げてきたこの事業は今や地域のコミュニティとなっており、わんぱく相撲に興味を持ち、開催を待ち望む子どもたちも少なくありません。国技である相撲は、歴史、文化、神事、競技など様々な側面から多くの人に慕われてきました。

より多くの子どもたちが興味を持てるように事前対策を行い、わんぱく相撲葵場所を通じて、挑戦や努力する姿勢、勝つ喜び、負けた悔しさ、礼節、相手を気遣う思いやりを学んでいただきます。また、相撲連盟に協力を仰ぎ、古来から伝わる相撲の魅力を感じる事ができる設えとします。岡崎ＪＣのメンバーは、諸先輩方から引き継いできた伝統に関われる事を誇りに思い、この事業を次の時代に繋いでいく事が使命です。この事業を受け継いでいく事は、子どもたちが学ぶだけでなく、子どもたちの姿を見て会員一人ひとりが学び、次の世代に繋いでいく事で地域貢献となります。地域との繋がりを感じていただき、歴史あるわんぱく相撲葵場所に多くの人が集まれるよう例会を構築してまいります。

【10 月例会】

現代の青少年は、私たちが子どもの頃、地域社会の暮らしの中で学ばれた知識や態度などの社会性を身に着ける機会が減少しています。青少年一人ひとりがこれらを学ぶ場の機会を岡崎ＪＣが創出していく事は、青少年の育成と地域貢献への第一歩となり得ます。

本例会では、岡崎ＪＣが主体で行う青少年を中心としたイベントを開催します。青少年一人ひとりがコミュニケーションを通じて社会性を学び、新しい経験を通じて自主性・創造性を発揮できる機会を作ります。そして、おかざきの文化にもなり得るよう、地域のお店、観光施設などに参加していただくなど地域の活性化が図れる設えとします。青少年一人ひとりが岡崎ＪＣのメンバー、家族、友人や地域の人など多くの人と関わり、一緒に取り組む事で、人や地域との関わり方、個人の特性の違いなど、多くの気づき、学びを与えられる機会となる事を目指します。岡崎ＪＣが創り出す新しい機会の提供は、地域のコミュニティを活用する事でスポーツ、文化などに関わらず、新たな人の流れを創り出し、地域の活性化へと繋がっていくと考えます。

【委員会運営】

青年会議所活動は、社業や家族との時間などの限りある時間の中から取り組みます。限られた活動であるからこそ、各委員会メンバーの協力が不可欠です。委員会活動を通じて、一人ひとりがコミュニケーションを積極的に図り、全員参加を目指します。そして、一丸となって事業に取り組む事で、多くの学びや気づきを得てもらい、個人の成長や社業の発展に生かせる楽しい委員会運営を行います。

委 員 長 事 業 方 針（案）

65 周年準備・会員拡大委員会
委員長　加藤　大雅

【3月例会】

ＪＣは40歳で卒業を迎え、会員が入会し続けなければ組織としての力は自ずと衰退していきます。会員数が多ければそれだけ活動・運動の幅は広がり、地域や他団体などに与える影響は大きくなるはずです。会員拡大とは絶対的なテーマであるとともに必要不可欠なＪＣ運動だと考えます。会員拡大を行う上で、人と人との繋がりや対話のスキルが磨かれるだけでなく、ＪＣの歴史や魅力をしっかりと理解し伝えられる事が要求され、拡大運動の中で自然とＪＣを知る事が可能となります。3月例会では、ＪＣについて造詣の深い講師をお招きし、ＪＣ活動の本質や存在意義についてご講和していただき、ＪＣ活動で得られる効果や自身の目的を再確認していただきます。その上で各々が考える岡崎ＪＣの魅力の発表と共有を行い、岡崎ＪＣとしてメンバーが共通して外部に発信すべき事を認識していただきます。共通認識を持つ事で全員が拡大運動へ参加できる環境づくりと、個々での外部アピールへと繋がる意識改革と熱意向上を目指してまいります。

【65周年に向けて】

周年事業では先輩諸兄、関係団体そして地域の方々に日々の感謝を伝えるとともに、岡崎ＪＣの「いま」を知っていただく絶好の機会となります。前年度より引き継いだ、周年事業に必要な情報をメンバーと共有した上で現在の「おかざき」そして「岡崎ＪＣ」だからできる事業内容の提案、予算や会場予約等の策定を行います。また、本年度より参加対象に当たる岡崎ＪＣシニアクラブ会員や他団体などに対し、告知や準備、協力のお願いをしてまいります。岡崎ＪＣに関わる人たちへの十分な周知をした上で次年度へと襷を繋いでまいります。

【中長期ビジョンの実現と基盤構築】

ＪＣは単年度制であり、連続性のある事業を基盤構築しない限り、岡崎ＪＣの存在感を地域に落とし込むのは困難となります。65周年に中長期ビジョン書を始動させるために、中長期ビジョン書内で掲げる4つのテーマごとに長きに渡って行っていける活動・運動についてメンバーと意見交換をするとともに、実行に必要な情報を精査いたします。また、実際に地域のイベントや他団体事業などに参加し得られる効果を検証し、次年度の中長期ビジョン書始動に向けての方向性を定めてまいります。

【委員会運営】

会員拡大を先導する委員会として、委員会メンバー自身がＪＣの魅力を誰よりも理解していなければ他者に伝える事はできません。ＬＯＭ内での情報交換や親睦を深める事を怠らず、会員拡大だけが目的になる委員会ではなく、拡大活動による自己成長とメンバー間の絆を大切にし、行動力に溢れ誰もが助け合える委員会運営を目指します。

委員長事業方針（案）

磨け！我がまち創造委員会
委員長 長井 利恵

【4 月例会】

おかざきには自慢できる歴史、文化、産業などの地域資源が数多くありますが、私たちメンバーはそれを語れるほど深く知っているでしょうか。大河ドラマや YouTuber をきっかけに日本中から観光客が訪れ、注目されている今こそ、私たち岡崎ＪＣは地域に根差す団体として、おかざきの事を深く知り、発信をしていく必要があります。本例会ではメンバーが互いに協力し、歴史、文化、産業などのジャンル分けしたスポットに訪れるなどをし、その場所の魅力を知ってもらいます。そして、一人ひとりが学んだ事を SNS を通じて投稿してもらいます。そして全体で共有する事でメンバー全員がおかざきの素晴らしさと魅力について語れるよう成長できる例会を目指します。

【9 月例会】

新型コロナのまん延により人と人との繋がりがいかに大切かという事を知りました。人と人との交流や、繋がれる場所を取り戻すためには、地域のために何ができるのかを再考していかなくてはなりません。そこで私たちは、おかざきらしさを知りながら感じる事ができるとともに、人と人との繋がりや一体感を感じられる機会の提供として、おかざきならではの伝統産業に触れる場や伝統的工芸品を使った遊びや体験する事ができたり、参加者が一丸となって盛り上がる事ができるようなイベントを、他団体・自治会などと連携して開催します。その結果、参加者同士の繋がりからまちの賑わいが創出されるきっかけとなる例会を行います。

【広報】

私たちの活動が市民の目に触れる事が多くなる事で、入会候補者や市民の方に、岡崎ＪＣが市民と共存しながらまちづくりをしている事を認知していただく事を目指します。また、「可視化」される事で、事業に参加したメンバーも振り返る事ができ、参加できなかったメンバーの達成感やモチベーションの向上にも繋がります。先輩方が築いてきた現在の広報活動を更に進化させていくため、一般の方の興味を引くような動画配信やリアルタイムで市民の方々とコミュニケーションが取れるライブ配信など、新しいツールを使って広報活動をしていきます。

【委員会運営】

委員会メンバーが意見を言いやすい雰囲気を作り、全員で運営をしていく事を目標にし、みんなが参加したくなるような委員会を作っていきます。そのために、メンバー1 人ひとりに役割を与え、メンバー全員が委員会運営に携わっているという自覚を持って委員会活動に取り組み、与えられた役割を全うする事でメンバー全員で成長でき、みんなで達成感を味わう事ができる、楽しくて学びになる事が多くある委員会を目指します。

委 員 長 事 業 方 針（案）

ＬＯＭ活性化委員会
委員長　森田　瑞生

【2 月例会】

ＪＣに所属するということは、様々な職種や個性をもつメンバーとの関わりがもてるというメリットがあります。しかし、お互いの社業やプライベートを知る機会が少なく、委員会や同期以外との交流も少ないと感じることがあります。本例会では、入会年度や年齢、委員会等の垣根を越え、会員同士の相互理解を深める取り組みを行います。コネクションイベントのような場を作り出し、これまで交流の機会が少なかった会員同士が新たに繋がる場を創出します。人と人の繋がりを大切にし、ビジネスからプライベートまで幅広い観点から相互に理解し合い、深い繋がりを築く契機を生み出します。本例会を通じて会員同士の相互理解を深め、各会員が岡崎ＪＣへ参加する事の魅力を実感し、帰属意識を強く根付かせることのできる例会にします。

【11 月例会】

　岡崎ＪＣがより大規模な運動や活動を実施するためには、会員同士がお互いを理解し合い、強い信頼関係を築くことが重要です。本例会では、自己成長と地域貢献をテーマにおかざき・幸田の特産物を使用し、委員会の垣根を越えたチーム編成を組み、与えられた課題に挑戦していく場を創出します。与えられる課題の中には自発的に行動、発言することが必要なもの、チームワークを向上させるもの等を用意し、例会を通してメンバー同士の交流も活発化させます。これらにより、相互理解を深め、強い信頼関係を築き、自己成長できる場も提供します。また各課題達成へのモチベーションを高めるために、ただ達成するだけの設えではなく、その成果を発表する場も設けます。共通の目標に向かって協力するこの例会により、岡崎ＪＣメンバーの深い信頼関係を築くことのできる例会にします。

【7月例会】

　本年度上半期の活動を岡崎ＪＣシニアクラブ会員及び正会員へ分かりやすく丁寧に報告し、下半期の活動目標も発表いたします。さらに、2025年度の第65代理事長候補者及び役員候補者をお披露目します。創立65周年への期待が高まるような舞台演出を目指します。本年度の下半期へ口火を切る式典例会として、各委員会の結束を改めて固め直す契機となる場を創出し、岡崎ＪＣシニアクラブ会員への感謝の気持ちを込め、細かなところまで礼節を忘れずに実施します。

【委員会運営】

　委員会メンバーが積極的に委員会活動に参加したいと思える委員会運営を目指します。そのように思える委員会にするためには、ＪＣ歴など関係なく誰とでも分け隔てなく楽しめる委員会である必要があります。社業やプライベートについて話し合い、楽しい事を共有し、悩みなども相談し合える「一生の仲間」となれるような委員会運営を目指します。

委 員 長 事 業 方 針（案）

総務委員会
委員長　蒲野　良隆

【1 月定時総会・例会】

1 月例会は本年度の岡崎ＪＣの体制や方向性を、来賓及び岡崎ＪＣシニアクラブ会員の方々へ示す大切な式典例会です。本例会では、動画、飾り付け、おもてなしのクオリティを高めた例会にします。おもてなしの仕方や、気遣いの方法を委員会メンバーと共に学び実践する事で、来賓及び岡崎ＪＣシニアクラブ会員の方々に、岡崎ＪＣからの感謝と熱意と勢いを感じてもらいます。また応援を得るためには、本年度の方針を分かりやすく伝える必要があります。理事長及び委員長の方針発表を格好良く、分かりやすくする事で、一人でも多くの方からの賛同を得られる例会にします。

【新入会員トレーニング・8 月例会】

ＪＣで活動していく中で、同期は特別な存在です。新入会員トレーニング及び 1 月例会のパフォーマンスを経て、同期はより仲の良い関係を築く事ができます。本年度の新入会員トレーニング及び 8 月例会では、一人だけでは成し遂げられない事に挑戦し、新入会員の同期の強い絆を生み出します。新入会員トレーニングを複数回以上開催し、新入会員が一丸となって企画立案、準備したものを、8 月例会で披露してもらいます。新入会員トレーニングでは準備だけでなく発案や構想を新入会員に練ってもらい、0 から 1 を作り出す事で、より一層深い達成感を味わってもらいます。また 8 月例会では、メンバーも新入会員と共に例会や事業を作り上げてもらう事で、より一層メンバー同士の絆を深め、岡崎ＪＣのチームワークをより強固にしていきます。

【12 月例会】

12 月例会は 1 年の総括と、これまで岡崎ＪＣの為に頑張って来られた同志の、最後の晴れ舞台になります。岡崎ＪＣへの貢献と苦労を労い、卒業生スピーチでは思いの丈を語ってもらい、懇親会は、レクリエーション等を用いて卒業生を明るい雰囲気の中で盛大に送り出します。例会当日だけでなく卒業生を 1 年かけてもてなすため、1 月から卒業生を紹介する事で、いち早くメンバーに意識をしてもらいます。また各委員会に呼び掛け、卒業生に対し各種大会や例会の参加推進を行ってもらいます。個別に呼び掛けたり送迎等を行い、卒業生が全ての行事に参加してもらえるよう努めます。そうして 1 年を通じて卒業生をもてなし、例会において盛大に送り出す事で、卒業生の思い出に残る 1 年にします。

【委員会運営】

総務委員会は皆の手本となる委員会です。その意識を委員会メンバー一人ひとりが自覚する事で、自ら率先して動ける人材になってもらうと共に、皆で役割分担をする事により、1 年を通じて成長と一体感を感じてもらいます。また委員会メンバー一人ひとりと向き合いメンバーと仲良くなる事で、委員会に足を運んでもらえるよう努めます。

外 務 理 事 抱 負（案）

外務理事　市田　侑希

【岡崎市青年経営者団体連絡協議会】

岡崎ＪＣにはＪＣＩに関連する出向先の他に、市内に存在する複数の青年経営者団体で構成される、岡崎市青年経営者団体連絡協議会という出向先があります。令和 5 年度に創立 50 周年を迎えたこの協議会は、昭和 49 年の設立以来、次代を担う青年経営者団体相互の連携と交流を促進し、各産業界の振興に資するとともに、地域社会の活性化に寄与し、岡崎経済界の発展と、安定を図ることを目的に活動しています。岡崎市経済振興部商工労政課に事務局を置き、同郷で同じ世代の各団体を代表する出向者が、共に切磋琢磨して活動を行い、行政との連携や、行政へ提言ができる全国的にも数少ない団体であるのも特徴です。令和 6 年度はこの協議会へ会長として出向するにあたり、岡崎ＪＣでは外務理事として、メンバーに出向の魅力を伝えると共に、会議体等で連絡調整を行ってまいります。

現在、岡崎市を拠点に活動する人気 YouTuber の聖地巡礼や、大河ドラマ「どうする家康」の効果により、市内各所では例年以上の賑わいを見せていますが、観光と経済の結びつきが強い岡崎市の地域経済の発展には、アフター大河をどう活性化させていくのかが課題になっています。またカーボンニュートラルを推進する岡崎市と企業の経済関係には、企業の環境へ配慮した取り組みも必然となる今、地域の青年が集まる団体だからこそ、考えできることで「もっともっと岡崎」を盛り上げ、各産業の持続的成長、地域経済の発展に貢献できるような事業展開をしていきたいと考えます。そして各団体の会員減少が進む中でも、それぞれの団体が培ってきた長所を活かし、短所を補い、三河武士の特徴の一つである強い結束力で、活気ある組織運営をしていきます。その様にして存在価値を高めることで、自ずと郷土愛と当事者意識をもった青年たちが魅力を感じ、参画したくなるよう協議会を目指していきます。

議案審査グループ抱負（案）

議案審査グループ役員

議案構築過程を重視するのが青年会議所です。構築過程の端緒には理事長所信、副理事長基本方針、委員長事業方針があります。それに伴い、予算を定め、事業の規模感が決まります。この後に、各会議体に議案が上程される事となります。正副理事長会議では背景、目的をあらためて見直し、目的達成のため手法が適切かを判断されます。それを承け、議案審査グループでは、大きく 5 つの観点を問います。所信等の読み込みが行われているのか。予算以上の効果を引き出せているのか。指導者訓練となりえているのか。会員の賛同を得られるものとなっているのか。コンプライアンスに違反していないか。この観点を大切にグループの運営をしていきます。

　加えて、本年度の議案審査グループは副委員長をメンバーに迎え、今まで以上に委員長を補佐し、委員会運営を盛り上げる存在へと成長していただく事を期待するとともに、アジェンダシステムに習熟したメンバーを一人でも増やし、今後の青年会議所の土台作りの場とします。

専 務 理 事 補 佐 抱 負（案）

専務理事補佐　松岡　怜

岡崎ＪＣに入会し、早くも1年が経過しました。ＪＣ活動を通じて、充実した日々を過ごさせていただいております。

2年目を迎えるにあたり、専務理事補佐という役を預からせていただくこととなりました。専務理事補佐の役を仰せつかった際、私自身には残り2年という短い在籍期間しか残されておりませんでした。そのため、岡崎ＪＣの発展のことを思えば、私よりも、長い期間、岡崎ＪＣに在籍することのできる方などが務められるべきではないかという思いを抱くこともありました。しかし、この1年を振り返ってみると、ＬＯＭにおいては、岡崎ＪＣメンバーと助け合いながら委員会活動・例会活動等を行っていく中で、新しい絆を結ぶことができました。また、この1年、ＬＯＭからブロックアカデミーへの出向もさせていただき、愛知県下の多くのＪＣメンバーとの交流をすることができ、自身の成長にもつながったと感じております。かような貴重な出会い・成長の機会を提供していただいた岡崎ＪＣに対して、私自身に何ができるかといえば、打診いただいた専務理事補佐の役を精一杯務めさせていただくことではないかと考え、役をお引き受けさせていただくことに致しました。

私が、専務理事補佐を務めさせていただくにあたっては、以下の点を心がけて務めていきます。

まずは、能動的に動くことを心がけます。まだ、在籍して2年目の私では、不勉強なことも多く、山本理事長や小田専務理事をはじめとするスタッフの方々にご指導いただくことも多々あるかと思います。しかし、漫然と指導を受ける立場に甘んじず、日々のＪＣ活動においていかなる下準備や設えが必要かといった点を修得しようとすることを心がけて行動いたします。能動的な行動により、初めて自らの経験となり、その経験を来年以降も就任されていく専務理事補佐の方々に対して引き継いでいくことが歴史あるＪＣの伝統と格式の継承につながるものと思っております。

また、感謝と謙虚の気持ちを忘れず、行動することを心がけます。岡崎ＪＣ入会からこれまで私自身が充実した日々を過ごすことができたのは、佐藤直前理事長や竹内直前専務理事等をはじめとする多くのスタッフの方々がその経験に基づいて、入念な準備等をしていただいたおかげであると感じております。専務理事補佐として、山本理事長や小田専務理事らをはじめとする岡崎ＪＣメンバーの方々とともに活動をさせていただく中で、その豊かな経験に基づくご指導に感謝しつつ、その深い経験に尊敬の念を忘れることなく、誠実に行動をしていきたいと考えております。

これから１年間、山本理事長・小田専務理事をはじめとするスタッフの皆様の精一杯のサポートができるよう誠心誠意務めさせていただきます。

共通事項

●各同好会への協力
●出向先への協力
●会員拡大及び会員拡大サポートへの協力
●卒業予定者に対する例会・各種事業へのアテンド

正副理事長		審議区分
●ASPAC参加推進及び参加サポートの件		依頼
●世界会議参加推進及び参加サポート		依頼
●災害発生時の対応窓口		運用
●外部団体との連絡窓口		運用
●災害LINEの運用及び管理		運用
●諸規則見直し業務		報告
●理事会での出向者報告及び効果検証	通年	報告
●LOM内連絡ツールの管理		報告

未来の英傑育成委員会		審議区分
●6月例会開催(公開型)	6月	審議
●10月例会開催(公開型)	10月	審議
●わんぱく相撲愛知ブロック大会参加サポート	7月	報告
●わんぱく相撲全国大会参加サポート	8月	報告
●タイムカプセル記念集会開催	9月	報告
●ファインの利用方法提案	12月	報告
●名古屋会議参加推進及び参加サポートの件	2月	依頼
●役員登記	前年12月	依頼
●葵橘会の設営	前年11月	依頼
●西三河10ＪＣじゃがいもコンペサポート（春季）	3月	依頼
●西三河10ＪＣ ＪＣカップ参加チームの募集及びアテンド	3月	運用
●ファインの管理	通年	運用
●年会費、預託金運用方法提案（三井住友カード・ダイナースクラブカード）	前年10月	運用

65周年準備・会員拡大委員会		審議区分
●3月例会開催(対内型)	3月	審議
●65周年事業の実施計画書及び予算書策定	7月	審議
●入会予定者オリエンテーションの実施	10月	報告
●会員拡大計画の策定	前年12月	報告
●中長期ビジョン書の検証・見直し	11月	報告
●竜桜会の設営	前年11月	依頼
●サマーコンファレンス参加推進及び参加サポートの件	7月	依頼
●京都会議参加推進及び参加サポート	1月	依頼
●例会時の会員拡大報告	通年	運用
●会員拡大	通年	運用
●会員拡大フォーマットの作成・引継	通年	運用

磨け!我がまち創造委員会		審議区分
●4月例会開催(対内型)	4月	審議
●9月例会開催(公開型)	9月	審議
●各種褒賞事業申込み窓口	5月	報告
●選挙の対応窓口（衆議院議員選挙）	1月	報告
●アンケート（対内用・対外用）の作成及び検証	前年10月	報告
●西三河10ＪＣ理事長会議サポート（岡崎開催時）	6月	報告
●FM EGAO出演スケジュールの策定	前年10月	報告
●通年広報計画の策定及び運用	前年10月	報告
●ホームページの総合管理・運営	前年10月	報告
●例会及び各事業における広報活動サポート	前年10月	報告
●TOYP大賞（旧人間力大賞）申込み窓口	3月	報告
●歴代理事長会議の設営	9月	報告
●東海フォーラム参加推進及び参加サポートの件	6月	依頼
●11クラブ親善スポーツ大会参加推進サポート	4月	依頼
●西三河10ＪＣじゃがいもコンペサポート（秋季）	10月	依頼
●広報（例会、事業、各種大会時の活動記録）	通年	運用

ＬＯＭ活性化委員会		審議区分
●2月例会開催（対内型）	2月	審議
●7月例会開催（対内型）	7月	審議
●11月例会開催（対内型）	11月	審議
●2024年度卒業会員への記念品手配	12月	報告
●家康行列参加サポート	4月	報告
●岡崎・幸田まちづくり応援基金の管理	2月	報告
●例会時の活動報告	前年10月	報告
●事務局員連絡会議窓口	9月	報告
●全国大会参加推進及び参加サポートの件	10月	依頼
●新入会員パフォーマンスサポート	前年10月	運用
●例会時の出向者報告	通年	運用

総務委員会		審議区分
●1月定時総会・例会及び懇親会の開催	1月	審議
●8月例会開催(対内型)	8月	審議
●12月臨時総会・例会開催及び卒業記念パーティーの開催	12月	審議
●新入会員トレーニング	任意	報告
●役員・委員会スタッフ候補者セミナー開催	8月	報告
●2024年度フォーマットの管理及び運用	前年8月	報告
●総合基本資料作成	前年12月	報告
●2024年度事業計画書・収支予算書作成	前年12月	報告
●2024年度事業報告書・収支計算書作成	12月	報告
●2023年度理事長への感謝状作成	1月	報告
●委員会記録管理	通年	報告
●会員の出席状況管理	通年	報告
●月程カレンダーの入力（ＬＯＭ内スケジュール）	通年	報告
●名刺作成の手配	前年12月	依頼
●理事会の設営計画・補助	前年10月	依頼
●愛知ブロック大会参加推進及び参加サポートの件	9月	依頼
●総会資料作成	1月・12月	運用
●議案の管理・配信	通年	運用
●事務局の管理・運営	通年	運用
●財務管理	通年	運用
●年会費・預託金管理	通年	運用
●会員カード管理	通年	運用
●物故会員に関する諸業務	通年	運用
●その他諸総務業務	通年	運用

中日本じゃがいも実行委員会		審議区分
●5月例会開催	5月	審議
●中日本じゃが開催及びPRへの協力	通年	運用

2024年度　議案上程スケジュール

委員会名: 未来の英傑育成委員会

議案NO	事業名	第1回			第2回			第3回			第4回			第1回			第2回			第3回			第4回			第5回			第6回			第7回			第8回			第9回			第10回			第11回			第12回			第13回		
		ks	kg	kr	ks	kg	kr	ks	kg	kr	ks	kg	kr	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r
01	6月例会開催（公開型）										調査・研究						討				協	協		協	審				遂行						決	決	決															
02	10月例会開催（公開型）																			調査・研究									討				協	協		協	審				遂行						決	決	決			
03	わんぱく相撲愛知ブロック大会参加サポート																						調査・研究			報	報	報				遂行						決	決	決												
04	わんぱく相撲全国大会参加サポート																									調査・研究			報	報	報				遂行			遂行			決	決	決									
05	タイムカプセル記念集会開催																												調査・研究			報	報	報				遂行						決	決	決						
06	ファインの利用方法提案																																					調査・研究			報	報	報				遂行			決	決	決
07	名古屋会議参加推進及びサポートの件										調査・研究			依	依	依	遂行																																				
08	役員登記				調査・研究			依	依	依				遂行																																								
09	葵橘会の設営	調査・研究			依	依	依	遂行																																														
10	西三河10JCじゃがいもコンペサポート（春季）													調査・研究			依	依	依	遂行																																		

ks　:候補者正副理事長会議　s　:正副理事長会議
kg　:候補者議案審査会　g　:議案審査会
kr　:候補者理事会　r　:理事会

討　:事業計画　依　:依頼要望確認
協　:事業計画　意　:意見交換
審　:事業計画　報　:事業計画
遂行　:事業遂行　決　:事業報告
調査・研究　:事前調査・研究

委員長作成日:2023年09月19日
副理事長確認日:2023年09月20日
上程日:2023年09月21日

2024年度　議案上程スケジュール

委員会名: 65周年準備・会員拡大委員会

議案NO	事業名	第1回			第2回			第3回			第4回			第1回			第2回			第3回			第4回			第5回			第6回			第7回			第8回			第9回			第10回			第11回			第12回			第13回		
		ks	kg	kr	ks	kg	kr	ks	kg	kr	ks	kg	kr	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r
01	3月例会開催（対内型）				調査・研究			討				協	協		協	審					遂行					決	決	決																									
02	65周年事業の実施計画書及び予算書策定																									討				協	協		協	審																			
03	入会予定者オリエンテーションの実施																																					報	報	報	遂行						決	決	決			
04	会員拡大計画の策定				報	報	報																																														
05	中長期ビジョン書の検証・見直し							調査・研究			報	報	報				遂行						決	決	決	調査・研究																		報	報	報						
06	竜桜会の設営				報	報	報	遂行																																													
07	サマーコンファレンス参加推進及び参加サポート																									依	依	依				遂行																					
08	京都会議参加推進及び参加サポート										依	依	依	遂行																																							
09	例会時の会員拡大報告													通年																																							
10	会員拡大										通年																																										
11	会員拡大フォーマットの作成・引継ぎ										通年																																										

ks　:候補者正副理事長会議　s　:正副理事長会議
kg　:候補者議案審査会　g　:議案審査会
kr　:候補者理事会　r　:理事会

討　:事業計画　依　:依頼要望確認
協　:事業計画　意　:意見交換
審　:事業計画　報　:事業計画
遂行　:事業遂行　決　:事業報告
調査・研究　:事前調査・研究

委員長作成日:2023年09月15日
副理事長確認日:2023年09月15日
上程日:2023年09月16日

2024年度　議案上程スケジュール

委員会名：磨け！我がまち創造委員会

議案NO	事業名	第1回			第2回			第3回			第4回			第1回			第2回			第3回			第4回			第5回			第6回			第7回			第8回			第9回			第10回			第11回			第12回			第13回		
		ks	kg	kr	ks	kg	kr	ks	kg	kr	ks	kg	kr	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r
01	4月例会開催(対内型)				調査・研究						討				協	協		協	審				遂行																													
02	9月例会開催(公開型)																			調査・研究						討				協	協		協	審				遂行													
03	各種褒賞事業申込み窓口																															報	報	報	遂行																	
04	選挙対応窓口(衆議院議員選挙)										報	報	報	遂行																																				決	決	決
05	アンケート(対内用・対外用)の作成及び検証										報	報	報	遂行																																				決	決	決
06	西三河10JC理事長会議サポート(岡崎開催時)																			報	報	報	遂行																													
07	FM　EGAO出演スケジュールの策定							報	報	報				遂行																																				決	決	決
08	通年広報計画の策定及び運用							報	報	報				遂行																																				決	決	決
09	ホームページの総合管理・運営							報	報	報				遂行																																				決	決	決
10	例会及び各種事業における広報活動サポート							報	報	報				遂行																																				決	決	決
11	TOYP大賞申込み窓口							報	報	報				遂行																																						
12	歴代理事長会議の設営																						依	依	依										遂行																	
13	東海フォーラム参加推進及び参加推進サポート																									依	依	依				遂行																				
14	11クラブ親善スポーツ大会参加推進サポート																依	依	依				遂行																												
15	西三河10JCじゃがいもコンペサポート(秋季)																															依	依	依				遂行													
16	広報(例会、事業、各種大会時の活動記録)										依	依	依	遂行																																						

ks　：候補者正副理事長会議　　s　：正副理事長会議
kg　：候補者議案審査会　　g　：議案審査会
kr　：候補者理事会　　r　：理事会

討　：事業計画　　依　：依頼要望確認
協　：事業計画　　意　：意見交換
審　：事業計画　　報　：事業計画
遂行　：事業遂行　　決　：事業報告
調査・研究　：事前調査・研究

委員長作成日：2023年09月26日
副理事長確認日：2023年09月26日
上程日：2023年09月26日

2024年度　議案上程スケジュール

委員会名：LOM活性化委員会

議案NO	事業名	第1回			第2回			第3回			第4回			第1回			第2回			第3回			第4回			第5回			第6回			第7回			第8回			第9回			第10回			第11回			第12回			第13回		
		ks	kg	kr	ks	kg	kr	ks	kg	kr	ks	kg	kr	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r
01	2月例会開催（対内型）	調査・研究			討				協	協		協	審				遂行						決	決	決																												
02	7月例会開催（対内型）																						討				協	協		協	審	遂行						決	決	決														
03	11月例会開催(対内型）																												討				協	協		協	審							遂行						決	決	決
04	2024年度卒業会員への記念品手配																																					調査・研究			報	報	報	遂行						決	決	決
05	家康行列参加サポート																調査・研究			報	報	報	遂行																														
06	岡崎・幸田まちづくり応援基金の管理										調査・研究			報	報	報	遂行																																				
07	例会時の活動報告				調査・研究			報	報	報				遂行																																								
08	事務局連絡会議窓口																															調査・研究			報	報	報	遂行															
09	全国大会参加推進及び参加サポートの件																															調査・研究			依	依	依	遂行															

委員長作成日：2023年09月18日
副理事長確認日：2023年09月21日
上程日：2023年09月21日

ks	：候補者正副理事長会議	s	：正副理事長会議
kg	：候補者議案審査会	g	：議案審査会
kr	：候補者理事会	r	：理事会
討	：事業計画	依	：依頼要望確認
協	：事業計画	意	：意見交換
審	：事業計画	報	：事業計画
遂行	：事業遂行	決	：事業報告
調査・研究	：事前調査・研究		

2024年度　議案上程スケジュール

委員会名: 総務委員会

	事業名	第1回			第2回			第3回			第4回			第1回			第2回			第3回			第4回			第5回			第6回			第7回			第8回			第9回			第10回			第11回			第12回			第13回		
		ks	kg	kr	ks	kg	kr	ks	kg	kr	ks	kg	kr	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r
1	委員会記録管理						報			報			報			報			報			報			報			報			報			報			報			報			報			報			報			報		
2	1月定時総会・例会及び懇親会の開催	調査・研究						討	協	協		協	審	遂行						決	決	決																																
3	8月例会開催(対内型)																			調査・研究						討				協	協		協	審	遂行																		
4	12月臨時総会・例会開催及び卒業記念パーティーの開催																															調査・研究						討				協	協		協	審	遂行			決	決	決
5	新入会員トレーニング				調査・研究									報	報	報	遂行																														決	決	決			
6	役員・委員会スタッフ候補者セミナー開催																															報	報	報	遂行			決	決	決											
7	総合基本資料作成							報	報	報				遂行						決	決	決																															
8	2024年度事業計画書・収支予算書作成										報	報	報	遂行						決	決	決																															
9	2024年度事業報告書・収支計算書作成																																											報	報	報	遂行			決	決	決
10	2023年度理事長への感謝状作成										報	報	報	遂行																																							
11	会員の出席状況管理																					報			報			報			報			報			報			報			報			報			報			報
12	名刺作成の手配				依	依	依	遂行																																													
13	理事会の設営計画・補助				依	依	依	遂行																																													
14	卒業予定者へのおもてなし				報	報	報	遂行																																													

ks　:候補者正副理事長会議　s　:正副理事長会議
kg　:候補者議案審査会　g　:議案審査会
kr　:候補者理事会　r　:理事会

討　:事業計画　依　:依頼要望確認
協　:事業計画　意　:意見交換
審　:事業計画　報　:事業計画
遂行　:事業遂行　決　:事業報告
調査・研究　:事前調査・研究

委員長作成日:2023年09月21日
副理事長確認日:2023年09月21日
上程日:2023年09月21日
委員長更新日:2023年11月18日
副理事長確認日:2023年11月18日
上程日:2023年11月18日

2024年度　議案上程スケジュール

委員会名：中日本じゃがいも特別委員会

議案NO	事業名	第1回			第2回			第3回			第4回			第1回			第2回			第3回			第4回			第5回			第6回			第7回			第8回			第9回			第10回			第11回			第12回			第13回		
		ks	kg	kr	ks	kg	kr	ks	kg	kr	ks	kg	kr	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r	s	g	r
01	5月例会開催(公開型)	調査・研究									討				協	協		協	審									遂行						決	決	決															

ks	:候補者正副理事長会議	s	:正副理事長会議
kg	:候補者議案審査会	g	:議案審査会
kr	:候補者理事会	r	:理事会
討	:事業計画	依	:依頼要望確認
協	:事業計画	意	:意見交換
審	:事業計画	報	:事業計画
遂行	:事業遂行	決	:事業報告
調査・研究	:事前調査・研究		

委員長作成日：2023年09月20日
室長確認日：2023年09月21日
上程日：2023年09月26日

一般社団法人岡崎青年会議所
2024年度 諸会議日程表（案）

年	月	回　数	正副理事長会議	議案審査会	理事会	例会
2023年	9月	第1回候補者	08月23日（水）	09月05日（火）	09月14日（木）	
2023年	10月	第2回候補者	09月21日（木）	10月03日（火）	10月13日（金）	
2023年	11月	第3回候補者	10月18日（水）	10月27日（金）	11月07日（火）	
2023年	12月	第4回候補者	11月15日（水）	11月24日（金）	12月05日（火）	
2024年	1月	第1回	12月21日（木）	01月05日（金）	01月15日（月）	01月16日（火）
2024年	2月	第2回	01月19日（金）	01月30日（火）	02月08日（木）	02月15日（木）
2024年	3月	第3回	02月20日（火）	02月29日（木）	03月12日（火）	03月21日（木）
2024年	4月	第4回	03月19日（火）	03月28日（木）	04月09日（火）	04月18日（木）
2024年	5月	第5回	04月16日（火）	04月25日（木）	05月07日（火）	05月13日（月）
2024年	6月	第6回	05月16日（木）	05月28日（火）	06月11日（火）	06月20日（木）
2024年	7月	第7回	06月18日（火）	06月27日（木）	07月09日（火）	07月17日（水）
2024年	8月	第8回	07月23日（火）	08月01日（木）	08月08日（木）	08月15日（木）
2024年	9月	第9回	08月20日（火）	08月29日（木）	09月10日（火）	09月19日（木）
2024年	10月	第10回	09月24日（火）	10月03日（木）	10月15日（火）	10月17日（木）
2024年	11月	第11回	10月22日（火）	10月31日（木）	11月12日（火）	11月21日（木）
2024年	12月	第12回	11月19日（火）	11月28日（木）	12月10日（火）	12月19日（木）
2025年	1月	第13回	12月16日（月）	01月07日（火）	01月16日（木）	

諸会議出席義務一覧表

役　職	人　数		正副理事長会議	代理人	議案審査グループ	代理人	理事会	代理人
正副理事長	5	名	●	否	可	—	●	否
専務理事	1	名	●	否	●	否	●	否
常務理事	1	名	●	否	●	否	●	否
外務理事	1	名	可	—	可	—	可	—
監事	2	名	●	否	可	—	●	否
外部監事	1	名	可	—	可	—	可	—
直前理事長	1	名	可	—	可	—	可	—
相談役	1	名	可	—	可	—	可	—
委員長	5	名	—	—	○	要	●	要
副委員長・幹事	15	名	—	—	☆	否	—	—
専務理事補佐	1	名	●	否	●	否	●	否
議案審査グループ	5	名	—	—	●	否	—	—
		合　計	10名		9名		15名	

●：出席　○：上程者出席　★：帯同者出席　可：出席可　要：欠席の場合は代理出席が必要　否：代理出席の必要無し
☆：副委員長のどちらか出席
※新入会員トレーニングの内容によって、正副理事長会議・議案審査会への特別オブザーブがある可能性があります。

	正副理事長会議	議案審査会	理事会
設営責任者/設営担当者	専務理事補佐	専務理事補佐	総務委員長/担当委員会
会計管理者	専務理事補佐	専務理事補佐	総務委員長
出欠確認者	専務理事補佐	専務理事補佐	担当委員会
開催場所	osoto ※状況によりWEBに変更	osoto ※状況によりWEBに変更	オーワホテル ※状況によりWEBに変更
開会時刻	19:00	19:00	19:00
司会者	専務理事	常務理事	専務理事
議長	-	-	理事長他
服装	不問	不問	下記【理事会ドレスコード】を確認

【理事会ドレスコード】
男性会員：スマートカジュアル、バッジ、ネームプレート着用（和装可）
女性会員：上記同等の服装、バッジ、ネームプレート着用（和装可）
※但し、第01回候補者、第01回、第06回、第13回においては服装規定ビジネスとする。その際は連絡します。

一般社団法人岡崎青年会議所　2024年度　正味財産増減予算書

2024年1月1日から2024年12月31日まで　　　　　　　　　　　　（単位：円）

科目		当年度	前年度	増減	備考
Ⅰ　一般正味財産増減の部					
1　経常増減の部					
（1）経常収益					
①受取入会金		780,000	660,000	120,000	
	受取入会金	780,000	660,000	120,000	新入会員13名分×60,000円
②受取会費		9,300,000	9,600,000	△ 300,000	
	正会員受取会費	8,880,000	9,240,000	△ 360,000	正会員74名×120,000円
	賛助会員受取会費	0	0	0	
	特別会員受取会費	420,000	360,000	60,000	卒業生14名×30,000円
③事業料収入		100,000	0	100,000	
	協賛金収入	100,000	0	100,000	10月例会協賛金
	例会事業チケット収入	0	0	0	
④広告料収入		0	0	0	
	事業収入	0	0	0	
⑤寄付金収入		50,000	80,000	△ 30,000	
	寄付金収入	50,000	80,000	△ 30,000	クレジット（ダイナース・三井住友）カード利用手数料還元
⑥雑 収 益		2,400	2,400	0	
	受取利息	2,400	2,400	0	
	雑収益			0	
	経常収益計	10,232,400	10,342,400	△ 110,000	
（2）経常費用					
①事業費		2,887,990	3,183,710	△ 295,720	
	会場設営費	896,500	650,000	246,500	
	講師関係費	156,000	550,000	△ 394,000	
	資料作成費	636,000	133,000	503,000	
	広報費	530,500	970,000	△ 439,500	
	報告書作成費	0	0	0	
	委託事業費	0	0	0	
	企画演出費	562,000	600,000	△ 38,000	
	記念品費	90,000	180,000	△ 90,000	
	保険料	5,000	35,000	△ 30,000	
	通信運搬費	0	35,000	△ 35,000	
	雑費	11,990	30,710	△ 18,720	
②管理費		4,781,700	4,748,507	33,193	
	賃借料	1,346,400	1,481,040	△ 134,640	事務局賃料・共益費・駐車場込
	給与手当	1,888,800	1,788,011	100,789	
	福利厚生費	320,000	320,000	0	
	印刷製本費	50,000	50,000	0	
	消耗品費	202,417	181,140	21,277	入会セット代@12,600円
	通信運搬費	120,000	135,000	△ 15,000	
	リース料	231,183	156,816	74,367	コピー機リース料13,068×12/アジェンダシステム利用料10,000×12/事前延長料30,000/年度切替費用30,000
	会議費	261,000	10,000	251,000	総会費 2回6,000円　理事会会場費17回
	広告宣伝費	217,500	238,500	△ 21,000	ウェブサイト管理費・サーバー利用料・ドメイン維持管理費・東海愛知新聞掲載料（@3,300×5回）（@11,000×3回）・I LOVE 岡崎 らぶっちゅ（隔週月曜日19：30～20：00@3,000×月）
	慶弔費	65,000	100,000	△ 35,000	
	雑費	79,400	288,000	△ 208,600	振込手数料
③負担金		2,015,514	2,064,691	△ 49,177	
	ＪＣＩ負担金	165,464	166,166	△ 702	2,236円/名×74名
	日本ＪＣ負担金	637,000	685,000	△ 48,000	機関誌購読料、基本料、付加金
	国際協力資金	135,050	140,525	△ 5,475	1,825円/名×74名
	出向者負担金	0	0	0	※1名20,000円
	東海地区協議会負担金	185,000	192,500	△ 7,500	2,500円/名×74名
	愛知ブロック協議会負担金	348,000	361,500	△ 13,500	ＬＯＭ15,000円　4,500円/名×74名
	愛知ブロック名古屋会議負担金	45,000	199,000	△ 154,000	ＬＯＭ45,000円
	その他負担金	500,000	320,000	180,000	
	経常費用計	9,685,204	9,996,908	△ 311,704	
	当期経常増減額	547,196	345,492	201,704	
2.経常外増減の部					
(1)経常外収益					
	経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用					
	経常外費用計	0	0	0	
	当期経常外増減額	0	0	0	
	法人税･住民税及び事業税	71,000	71,000	0	
	当期一般正味財産増減額	476,196	274,492	201,704	
	一般正味財産期首残高	5,317,579	5,043,087	274,492	2023年12月31日時点 ※当年度期首残高に関しては実績値を記載
	一般正味財産期末残高	5,793,775	5,317,579	476,196	2024年12月31日時点
Ⅱ　指定正味財産増減の部					
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	
	指定正味財産期首残高	0	0	0	
	指定正味財産期末残高	0	0	0	
Ⅲ　正味財産期末残高		5,793,775	5,317,579	476,196	

※1名につき13米ドル（1米ドル＝172円換算　為替レート･変動率･手数料含む）

委 員 会 事 業 費 内 訳 書(案)

（単位：円）　（単位：円）　（単位：円）

委　員　会　名	内　　訳	2024年度予算	2023年度予算	増　　減	適　　用
未来の英傑育成委員会	タイムカプセル記念集会開催	10,000	10,000	0	
	わんぱく相撲愛知ブロック大会参加サポート	30,440	30,550	△ 110	
	わんぱく相撲全国大会参加サポート	10,550	10,660	△ 110	
	事業費合計	50,990	51,210	△ 220	
65周年準備・会員拡大委員会	入会予定者オリエンテーションの実施	20,000	28,000	△ 8,000	
	65周年事業の事業計画書及び予算書策定	10,000	30,000	△ 20,000	
	中長期ビジョン書の検証・見直し	15,000	21,000	△ 6,000	
	事業費合計	45,000	79,000	△ 34,000	
磨け!我がまち創造委員会	選挙の対応窓口(衆議院議員総選挙)	100,000	100,000	0	
	事業費合計	100,000	100,000	0	
ＬＯＭ活性化委員会	2024年度卒業会員への記念品手配	90,000	122,500	△ 32,500	
	事業費合計	90,000	122,500	△ 32,500	
総務委員会	総合基本資料作成	450,000	450,000	0	
	新入会員トレーニング	100,000	120,000	△ 20,000	
	役員・委員会スタッフ候補者セミナー開催	15,000	15,000	0	
	2024年度事業計画書・収支予算書作成	6,000	20,000	△ 14,000	
	2024年度事業報告書・収支計算書作成	6,000	20,000	△ 14,000	
	事業費合計	577,000	625,000	△ 48,000	
		862,990	977,710	△ 114,720	

例 会 費 内 訳 書

（単位：円）　（単位：円）　（単位：円）

	開催月	担　当　委　員　会	種　　別	2023年度予算	2022年度予算	増　　減	適　　用
例　会　費	1月	総務委員会	対内型	190,000	190,000	0	
	2月	ＬＯＭ活性化委員会	対内型	35,000	35,000	0	
	3月	65周年準備・会員拡大委員会	対内型	30,000	145,000	△ 115,000	
	4月	磨け!我がまち創造委員会	対内型	30,000	145,000	△ 115,000	
	5月	中日本じゃがいも実行委員会	公開型	30,000	80,000	△ 50,000	
	6月	未来の英傑育成委員会	公開型	300,000	300,000	0	
	7月	ＬＯＭ活性化委員会	対内型	210,000	200,000	10,000	
	8月	総務委員会	公開型	260,000	280,000	△ 20,000	
	9月	磨け!我がまち創造委員会	公開型	300,000	180,000	120,000	
	10月	未来の英傑育成委員会	公開型	400,000	145,000	255,000	
	11月	ＬＯＭ活性化委員会	対内型	40,000	300,000	△ 260,000	
	12月	総務委員会	対内型	200,000	200,000	0	
合　　計				2,025,000	2,200,000	△ 175,000	

総 会 費 内 訳 書

（単位：円）　（単位：円）　（単位：円）

	開催月	担　当　委　員　会	種　　別	2023年度予算	2022年度予算	増　　減	適　　用
総　会　費	1月	総務委員会	定時総会	3,000	3,000	0	
	12月	総務委員会	臨時総会	3,000	3,000	0	
合　　計				6,000	6,000	0	

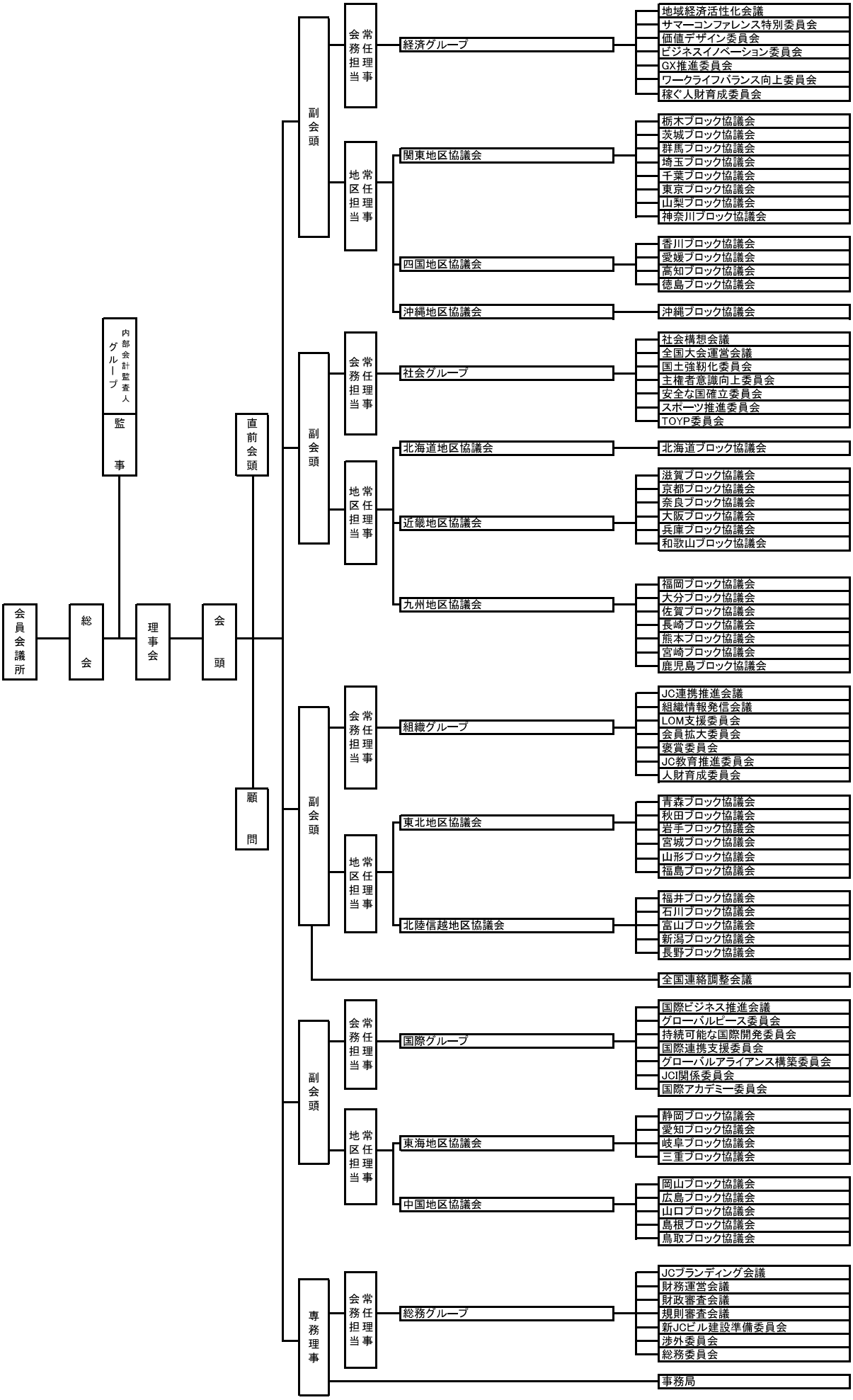
総合計	2,893,990	3,183,710	△ 289,720

2024年度出向者一覧

会　議　体			
	委　員　会　名	役　職	氏　名
愛知ブロック協議会			
1	ブロックアカデミー委員会	委員長	野畑　響平
2	ブロックアカデミー委員会	総括幹事	都築　孝治
3	ブロックアカデミー委員会	会計幹事	伊藤　旭
4	ブロックアカデミー委員会	幹事	佐藤　伸
5	ブロックアカデミー委員会	委員	奥村　純矢
6	ブロックアカデミー委員会	委員	畔柳　翔
7	ブロックアカデミー委員会	委員	佐藤　瑶
8	ブロックアカデミー委員会	委員	市川　貴文
9	ブロックアカデミー委員会	委員	島田　彰人
10	ブロックアカデミー委員会	委員	齋藤　延和
11	ブロックアカデミー委員会	委員	石川　雄大
12	ブロックアカデミー委員会	委員	神谷　知
13	ブロックアカデミー委員会	委員	駒田　雄也
14	ブロックアカデミー委員会	委員	濱田　翔平
15	ブロックアカデミー委員会	委員	赤木　潤平
16	ブロックアカデミー委員会	委員	赤堀　功季
17	ブロックアカデミー委員会	委員	都築　涼太
岡崎市青年経営者団体連絡協議会※			
1		会長	市田　侑希
2		専務	菊地　桂佑
3		事務局長	加藤　敦士
4		委員	宇津野詠二
5		委員	早川栄治
6		委員	河合紀博

※出向期間は、2024年5月1日から2025年4月30日まで

公益社団法人日本青年会議所
2024年度　基本資料（案）
組　織　図



愛知ブロック協議会 2024年度 組織図

エリア	西尾張6JC						尾張東6JC						名古屋	知多5JC				
会員会議所名	一般社団法人海部津島青年会議所	公益社団法人一宮青年会議所	一般社団法人稲沢青年会議所	一般社団法人犬山青年会議所	一般社団法人江南青年会議所	一般社団法人丹羽青年会議所	岩倉青年会議所	一般社団法人尾張旭青年会議所	公益社団法人春日井青年会議所	一般社団法人北名古屋青年会議所	一般社団法人小牧青年会議所	一般社団法人瀬戸青年会議所	公益社団法人名古屋青年会議所	一般社団法人大府青年会議所	知多青年会議所	一般社団法人東海青年会議所	常滑青年会議所	公益社団法人半田青年会議所
理事長名	平野　匡彦	浅野　大介	大野　紀之	原　尚平	田畑　貴弘	佐野　勇人	河合　良弥	坂本　真由	齊藤　洋大	小川　紋輝	小池　公二	井上　陽太	安井　琢磨	中村　卓也	高橋　直之	安藤　康之	渡辺　敏史	内田　雄介

西三河10JC										東三河5JC				
一般社団法人愛知中央青年会議所	一般社団法人安城青年会議所	一般社団法人岡崎青年会議所	一般社団法人刈谷青年会議所	高浜青年会議所	一般社団法人知立青年会議所	一般社団法人豊明青年会議所	一般社団法人豊田青年会議所	一般社団法人西尾青年会議所	一般社団法人碧南青年会議所	一般社団法人蒲郡青年会議所	一般社団法人新城青年会議所	一般社団法人田原青年会議所	一般社団法人豊川青年会議所	公益社団法人豊橋青年会議所
三田　英勝	鳥居　将成	山本　真道	岡田　晃一郎	神谷　英伸	堂原　圭佑	光岡　道則	鈴木　聖人	鋤柄　大悟	新美　慶太郎	竹尾　友宏	竹下　修平	鵜飼　啓嗣	岩瀬　崇典	天野　正樹

会員会議所会議

監査担当役員
蛯原　義裕
（尾張東6・小牧JC）

監査担当役員
高橋 亮
（名古屋・名古屋JC）

直前会長
杉浦　晴太郎
（西三河10・碧南JC）

会　長
中村　尚人
（東三河5・豊川JC）

役員会議

副会長
柴田 啓統
（尾張東6・春日井JC）

副会長
鈴木 崇之
（東三河5・蒲郡JC）

副会長
稲垣 博貴
（西三河10・豊田JC）

副会長
平野 伸弥
（西尾張6・海部津島JC）

副会長
加藤 大典
（知多5・半田JC）

運営専務
鈴木　嘉希津
（東三河5・田原JC）

ワクワクリーダー育成
委員会

委員長
藤野　希依
（東三河5・豊橋JC）

地域連携拡大
委員会

委員長
徳石　翔太
（名古屋・名古屋JC）

国際連携推進
委員会

委員長
加藤　大晴
（西尾張6・海部津島JC）

強いあいち確立
委員会

委員長
加納　嵩之
（知多5・常滑JC）

ブロックアカデミー
委員会

委員長
野畑　響平
（西三河10・岡崎JC）

共感広報ブランディング
委員会

委員長
田村　一平
（西三河10・豊田JC）

ブロック大会運営
委員会

委員長
梅澤　侑未
（尾張東6・小牧JC）

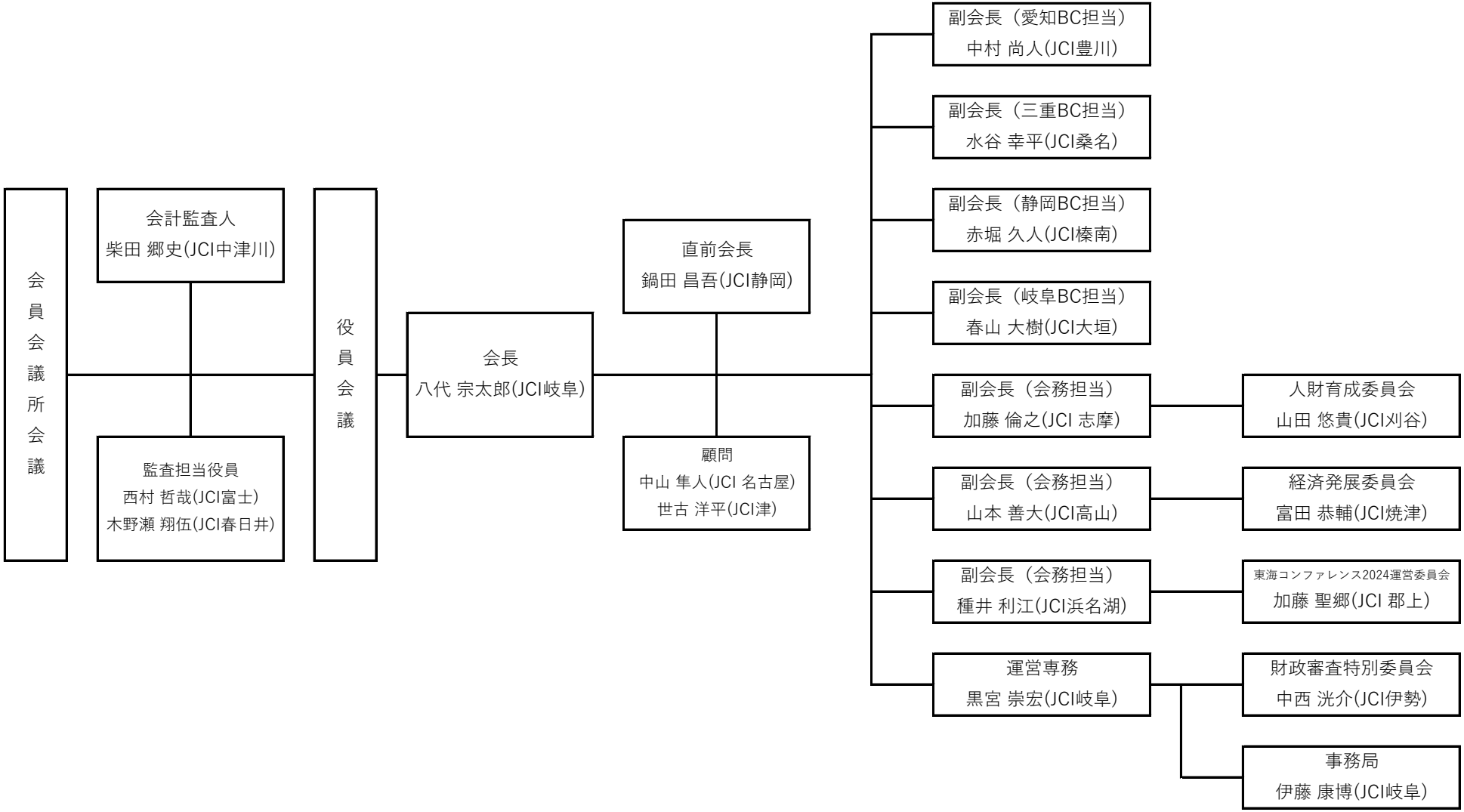
事務局

事務局長
関谷　冴基
（東三河5・豊川JC）

財政局

財政局長
田中　大造
（東三河5・豊川JC）

公益社団法人日本青年会議所
東海地区協議会　2024年度　組織図



公益社団法人　日本青年会議所
2024年度　組織図

公益社団法人日本青年会議所
2024年度　年間公式スケジュール（案）

2023年8月18日現在

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
正副会頭会議 （月初）	6日　（土） （JC会館）	1日　（木） （JC会館） 22日　（木） （福岡）		4日　（木） （高松） 26日　（金） （東広島）	30日　（木） （埼玉）	30日　（日） （開催地未定）			4日　（水） （開催地未定） 19日　（木） （大阪）	17日　（木） （開催地未定）	28日　（木） （神戸）	
正副会頭会議 （月中／WEB）	12日　（金） （JC会館）	8日　（木） （大阪・勝尾寺）	1日　（金） （WEB）	11日　（木） （WEB）	9日　（木） （WEB）	13日　（木） （WEB）	11日　（木） （WEB）		12日　（木） （WEB） 26日　（木） （WEB）		8日　（金） （WEB）	12日　（木） （WEB）
常任理事会	13日　（土） （JC会館）	16日　（金） （JC会館）	7日　（木） （JC会館）	19日　（金） （JC会館）	17日　（金） （開催地未定）	21日　（金） （開催地未定）	18日　（木） （開催地未定）		13日　（金） （開催地未定）	2日　（水） （福岡）	22日　（金） （開催地未定）	13日　（金） （開催地未定）
理事会	19日　（金） （京都）	17日　（土） （JC会館）	8日　（金） （JC会館）	20日　（土） （JC会館）	18日　（土） （開催地未定）	22日　（土） （開催地未定）	19日　（金） （開催地未定）		14日　（土） （開催地未定）	4日　（金） （福岡）	23日　（土） （開催地未定）	14日　（土） （開催地未定）
総会	20日　（土） （京都）		23日　（土） （東京）							4日　（金） （福岡）		
JCI諸会議	JCI常任理事会/理事会 （JCI JEM/JBM） 7日　（日） ～12日　（金）				アフリカ・中東地域会議 22日　（水） ～26日　（日） アメリカ地域会議 8日　（水） ～11日　（土）	アジア・太平洋地域会議 6日　（木） ～9日　（日） ヨーロッパ地域会議 12日　（水） ～15日　（土）	JCI中間常任理事会 （JCI MYE） 22日　（月） ～26日　（金）				JCI世界会議 10/30　（水） ～3日　（日）	
NOM主要事業	京都会議 （京都） 18日　（木） ～21日　（日）						国際アカデミー サマーコンファレンス 20日　（土） ～21日　（日）			全国大会 （福岡） 3日　（木） ～6日　（日）		
財政審査会議												
公益審査会議												
コンプライアンス審査会議												
その他	JCI諸会議・大会　開催地 【JCI常任理事会/理事会】アメリカ（セントルイス）　【中間常任理事会】未定（未定） 【アメリカ地域会議】パラグアイ（アスンシオン）【アフリカ・中東地域会議】ルワンダ（ギガリ）【ヨーロッパ地域会議】フィンランド（オウル） 【アジア・太平洋地域会議】カンボジア（アンコール）【世界会議】台湾（桃園）											

＜MEMO＞

発　　行　　所　　一般社団法人 岡崎青年会議所
〒444-0874　岡崎市竜美南１丁目２番地
TEL　0564-53-5045　　FAX　0564-53-5149
発行責任者　理事長　山本　真道
編集責任者　常務理事　岩田　裕文
編　　集　総務委員会

※　この事業計画書・収支予算書は、一般社団法人岡崎青年会議所正会員が活動を行う上で重要な資料です。個人管理を徹底していただき、他への譲渡・コピーは一切禁止願います。

2023年12月12日現在